

やすらぎ短信

平成 29年
2月号

二月三日 節分



二月三日は節分です。立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といいますが、日本では立春を一年のはじまりの大切な日としてきましたので、二月の節分に豆まきをして鬼を払い、厄災を祓う風習が残りました。その起源は古く平安時代に宮中で行われていた「追儺（ついな）」。「鬼やらい」といった鬼を弓矢で払う儀式が基になっています。

各ご家庭でも「鬼は外、福は内」の掛け声で、家族そろって行う豆まきを子へ孫へと繋いでほしいと思います。

節分の風習あれこれ

◆豆まき

家内で「福は内」、玄関で「鬼は外」と言いながら豆をまきます。豆は年齢プラス一個食べると無病息災で過ごせるといわれています。



◆恵方巻

恵方とは歳徳神（としとくじん）がいらしやるおめでたい方角で、その方角を向いて無言で食べると万事に吉といわれています。

ちなみに今年の恵方は北北西です。



◆いわし・柊（ひいらぎ）・南天

玄関や鬼門、裏鬼門に飾ります。

いわし …… いわしの臭いが鬼を払う。

柊 …… 柊のトゲが鬼の目を刺す。

南天 …… 難を転じるゲン担ぎ。



浦幌神社節分祭

当社でも二月三日に節分祭を斎行し、皆様の厄払いや家内安全祈願を行います。祈願祭の時間は左記の通りです。

浦幌神社節分祭

平成 29年 2月 3日

午前 9時・午前 10時

午後 1時・午後 3時・午後 6時

表記以外の時間をご希望される場合は、予約にてご奉仕致します。

TEL 015-576-2448

※厄祓いは年中受付けております。

浦幌神社行事予定

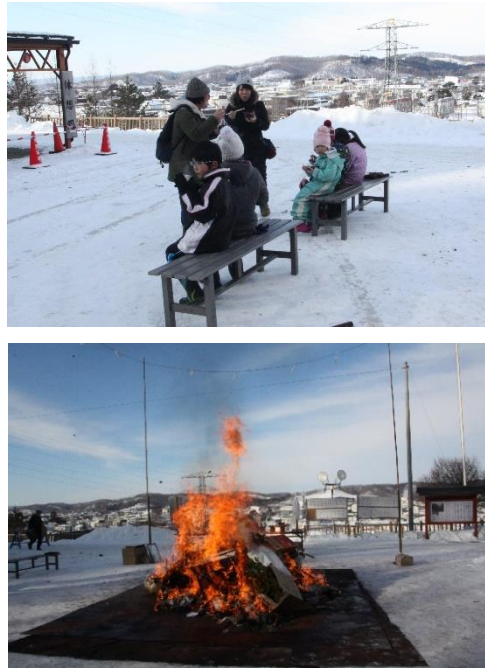
二月一日 月次祭

二月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八



古神札焼納祭齋行
 去る一月十五日午前九時より、古神札焼納祭(どんど焼き)が齋行されました。参列者は、火にあたりながら無病息災を祈りました。毎年恒例の甘酒、お汁粉の振る舞いも行われ、境内が賑わいました。

平成29年 厄年該当者(かぞえ年)

男 性		
24歳	平成6年生	前厄
25歳	平成5年生	本厄
26歳	平成4年生	後厄
41歳	昭和52年生	前厄
42歳	昭和51年生	本厄
43歳	昭和50年生	後厄
49歳	昭和44年生	本厄
61歳	昭和32年生	還暦
70歳	昭和23年生	古希
77歳	昭和16年生	喜寿
80歳	昭和13年生	傘寿
88歳	昭和5年生	米寿

女 性		
18歳	平成12年生	前厄
19歳	平成11年生	本厄
20歳	平成10年生	後厄
32歳	昭和61年生	前厄
33歳	昭和60年生	本厄
34歳	昭和59年生	後厄
36歳	昭和57年生	前厄
37歳	昭和56年生	本厄
38歳	昭和55年生	後厄
49歳	昭和44年生	本厄
61歳	昭和32年生	還暦
70歳	昭和23年生	古希
77歳	昭和16年生	喜寿
80歳	昭和13年生	傘寿
88歳	昭和5年生	米寿

厄祓いは1月1日より年中受ける事が出来ます。